

第1回域内学力向上担当者等研修会

5月14日(火)、南会津町役場にて各小中学校の先生方、教育委員会担当者の24名により、学力向上に向けた協議が行われました。

まず、協議Ⅰでは「ふくしまの授業スタンダード」チェックシートをもとに、今年度重点的に取り組む3点を確認しました。

- No.4 子どもの願い等を引き出した学習課題の工夫
- No.8 話し合いのコーディネートの工夫
- No.9 学習したことを明確化したまとめの工夫

協議Ⅱでは、教職員の指導力の向上を図るための効果的な「互見授業」について、方法、時間、意識の3つの観点でKJ法を用い解決策について意見交換しました。

《「互見授業の活性化」のアイデア》

① 方法

- ・ 週案に参観してほしい授業時間を明記
→ 教務が週報に整理し、周知
- ・ 「指導案なし」での実践
→ 参観してほしい時間を職員室のホワイトボード(研修専用)に板書
→ ねらいや助言がほしい内容も記し周知
→ 参観後、感想をまとめる用紙を作成し配付、活用
- ・ 学年ブロックで実施
→ 小グループでフットワークを軽く
- ・ 板書の活用
→ 板書を画像として保存し、それをもとに意見交換

② 時間

- ・ 互見授業週間などを設定し実践
→ 教務が月計画に実施週を設定し周知
- ・ 短い時間(ちょっと)だけ参観
→ 導入場面だけなど絞っての参加
- ・ 補教体制の整備
→ 管理職等の協力を得て教務が時間創出

③ 意識

- ・ 気軽に相談できる職場の雰囲気づくり
→ 管理職のリーダーシップ(声かけやコーディネート)
- ・ 「互いにためになる」という共通認識
→ 研修主任を中心に、授業者も参観者も授業や児童生徒の様子について明るく話し合う時間の確保等の工夫
- ・ ベテラン教師の活躍
→ 若い先生に参観するよう声をかけ実践することから、学び合う文化を醸成

私たち教師が毎時間「主体的・対話的で深い学び」を実践することが大切です。

まずは、各学校で授業や児童生徒について相談したり、話し合ったりすることから始めていきましょう。

小学校理科実験基礎講座

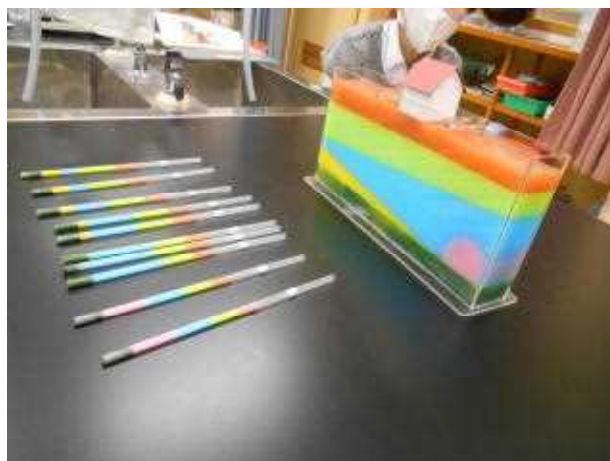
この講座は小学校教員を対象に、理科の学習指導に必要な基礎的な知識と技能を身に付けることを目的に開催しています。5月16日(木)南郷小学校を会場に、域内から10名の先生方が参加しました。

県教育センターの2名の指導主事が講師を務め、「観察、実験の進め方とポイント」をテーマに、中学年と高学年の2コースに分かれて演習を行いました。

「人のからだのづくり」では、割り箸や輪ゴム等の材料を使い、腕を曲げたときの筋肉の動きが実感できる教材を手作りしました。



「大地のつくりと変化」では、地層サンプルの作成と活用方法について学びました。色紙で囲った教材にストローを刺し、予想した後に地層を確認する演習では、参加者も大いに盛り上がりました。あえて見せないことによって目に見えない部分の思考を働かせることについて理解を深めました。



身近にある物が授業で活用できること、教師のアイデアや工夫によって子どもたちの学習意欲が高まり、科学的思考が深まっていくことを実感しました。

今年度の理科授業力アップ研修会は7/8(月)と8/30(金)に江川小学校で、10/17(木)に館岩中学校で開催する予定です。各種研修で学んだことを、各学校の理科の授業でぜひ生かしていただき、域内に「理科好き」の児童生徒が一層増えてくれることを期待します。